

Ⅱ 子ども読書活動推進のための様々な取組

実践① 武幼稚園親子読書サークル「たんぼぼ」

1 はじめに

武幼稚園は、創立 69 年目を迎える私立幼稚園で、令和 4 年度は園児数 53 人（12 月 1 日現在）、学級数 3 学級（年長・年中・年少各 1 学級）の小規模園である。昭和 29 年 4 月に鹿児島市社会事業協会が武公民館の一部を借りて開園し、昭和 59 年 4 月学校法人の認可を受け、名称を「学校法人武町学園武幼稚園」と改称、現在に至っている。理事長が武町内会長ということで、他の私立幼稚園とは異なり、いわゆる『地域に根差した幼稚園』の色彩が濃い幼稚園である。コロナ禍で現在は実施していないが、武校区文化祭や敬老会、夏祭りなどの地域行事には積極的に参加するとともに、武校区社会福祉協議会主催の「子育てサロン」には弊園の職員もスタッフとして参加し、企画・立案、実際の活動にかかわっている。

親子読書サークル「たんぼぼ」は、平成 13 年 6 月に発足し、読書活動に関心をもつ保護者が中心になって楽しく活動をしている。（令和 4 年度は 11 人）

2 主な活動

- ◎ 定例会…年 6 回（R 4 年度はコロナ流行等で 2 回）開催
 - ・ 読書関係の各研修会の報告，読み聞かせ用図書や紙芝居の選定・事前練習，たんぼぼ文庫の貸出・返却等の打合せ，会員同士の情報交換を主に行っている。
- ◎ 読書活動推進のための取組…年間延べ 14 回
（R 4 年度はコロナ流行等で回数減）



定例会開催の連絡案内

(1) 読み聞かせ

- ・ 月 1 回の帰りの会で、手遊び歌と絵本の読み聞かせをする。
- ・ 毎月の誕生会で、紙芝居や絵本の読み聞かせをする。（R 4 度はビデオ撮影を月 1 回行い、動画を提供する）



誕生会での読み聞かせ
（コロナ以前）

(2) たんぼぼ文庫の管理や貸出

- ・ たんぼぼ文庫の蔵書管理（新刊本の整理，本の修繕等）や貸出・返却のための準備をする。特に夏休み期間中は夏季保育日（2 日間）に会員が直接貸し出しや返却の業務をする。

(3) クリスマス会

- ・ 歌唱やピアノ演奏，ハンドベル演奏，大型絵本の読み聞かせやお話の劇化（パネルシアター）など，親子で楽しめる内容を企画し，子どもたちの前で披露する。また，手作りのプレゼントを全園児に贈るなど，クリスマスの雰囲気づくりを工夫している。



3 年ぶりに園児の前で
披露したパネルシアター

- ・ R4年度はコロナ禍の状況を配慮し、手作りプレゼントも完成品ではなく、製作キットを配布し、親子で作成してもらえようとした。

(4) 子育てサロン等での活動

- ・ 幼稚園，社会福祉協議会，東部保健センターの三者共催の「子育てサロン」でも読み聞かせ等の読書活動を行っている。

(5) 「宝本」エピソードへの参加

- ・ 昨年度から，鹿児島県立図書館の「宝本エピソード」に応募し，夏休みに各家庭で親子一緒に読んだ「心に残る本」の紹介を園内に掲示している。
読書を通して，親子で一緒に過ごす時間を共有するとともに，親子の会話が深まることで，温かい心が育まれている。親子読書の気運が高まり，本年度もたくさんの「宝本エピソード」が集まった。「11月に県立図書館ロビーで展示」を園の週報で周知してもらい，図書館まで足を運ぶ会員も増えてきた。



我が家の宝本エピソード

3 成果と課題

新型コロナウイルス感染拡大防止のため，ここ2年はやむなく活動を縮小し，事前に読み聞かせの動画を撮影し，誕生会の際に誕生児のいるクラスにて流してもらってきた。令和4年度のクリスマス会においては，感染状況を踏まえ，実際に子どもたちの前でパネルシアターやハンドベルの演奏をするなど，幼稚園と連携して，3年ぶりに従来に近いかたちで活動することができた。

これまでの「たんぽぽ」の活動を振り返ると，子どもたちと一緒に手遊び歌をしたり静かに読み聞かせを聞いてもらったりしながら，親子で物語を味わってきた。子どもたちが目を輝かせながら話を聞いている姿を見るにつけ，「次回はどんな読み聞かせをしようか」などと楽しく活動をしていた。

これからも，読書の大切さを伝える役割を担い，子どもたちとともに絵本に親しむ親子読書サークルでありたいと思っている。



お誕生会動画撮影



読み聞かせ本の選定



クリスマスプレゼント
(製作キット)